



新型タイベック®シルバーに大きな反響！ 高い耐久性とその技術力に 改めて注目が集まっています。

製品パンフレットを プロフェッショナル仕様に リニューアルいたしました。

すでに出荷を開始している新型タイベック®シルバーの登場にあわせ、製品パンフレットを工務店様や設計事務所様向けの専門的な情報に特化したプロフェッショナルガイドとしてリニューアルしました。工務店様や設計事務所様に製品の技術的なポイントをご理解いただく参考資料としてご活用いただければと存じます。

遮熱効果の実験データに加え、他社と最も差がつく防水と遮熱の耐久性に関する性能の優位性を、新しい実験データを使って徹底的に検証しています。また、これまでご紹介する機会の少なかった、高い耐久性を生む技術についても、イラストなどを用い分かりやすくご紹介しています。

プロフェッショナルガイドをご覧になっていた工務店様からは、弊社独自の技術力に改めて高い評価をいただいています。ぜひご一読くださいますようお願いいたします。

製品パンフレットを追加でご希望の方は、下記フォームにご記入の上、FAXにてご請求ください。

工務店様・設計事務所様向け

デュポン™タイベック®シルバー プロフェッショナル ガイド
豊富な実験・実証データに基づいたリアリティのあるご説明をしています。



お施主様向け

なるほど! 快適長持ち家づくりガイド
お施主様向けにタイベック®シルバーを分かりやすく説明するツールとしてご活用ください。



新型タイベック®シルバー プロフェッショナルガイド追加お申し込みフォーム

※ 必要事項をご記入の上、右記FAX番号へご送信ください。

FAX : 03-5521-2601

追加ご希望部数

()部

御社名

ご芳名

ご住所

〒 ー

新型タイベック®シルバーについて、みなさまのご感想やご意見、ご質問を、ぜひお聞かせください。


Special Interview

ホームインスペクターから見る

本物の長期優良住宅とは

すでに戸建住宅着工戸数の約25%※を占めるほど飛躍的に普及し始めている長期優良住宅ですが、もちろん認定されれば無条件に長寿命の家であるということではありません。本当に長持ちする長期優良住宅はどうあるべきか、数多くの新築・中古住宅の現場を診断している、NPO法人日本ホームインスペクターズ協会理事の久保新氏にお話を伺いました。

※2010年7月長期優良住宅認定戸数：9,586戸（2010年8月13日国土交通省発表資料より）



久保新 氏（おおくぼ あらた・1968年生・東京都出身）

・NPO法人日本ホームインスペクターズ協会理事
 ・日本ホームインスペクターズ協会公認インスペクター
 ・二級建築士 ・応急危険度判定士 ・住宅性能評価員
 新築マンションから住宅リフォームなど、数多くの施工を手掛けて培った職人としての技術力と経験を住宅診断に活かし、高い信頼を獲得されています。

一 ホームインスペクターとは どんなお仕事でしょうか？

ホームインスペクターとは、住宅全体の劣化状況や欠陥の有無をチェックし、メンテナンスすべき箇所やその時期、おおよその費用などを「中立な立場」でアドバイスする専門家です。こうした診断は主に中古住宅売買の時に Rowe、[安心して住宅を購入できる]情報としてお客さまに提供されます。また、かかりつけのお医者さんのように、定期的に住宅の「健康診断」を行うことも多くあります。州によって異なりますが、米国では住宅取引全体の7割～9割でホームインスペクションが行われ、すでに常識となっています。日本でも、これからもっと良質な住宅のストックを作っていくために、ホームインスペクターの活躍が期待されています。



一 「本物」の長期優良住宅であるために、 何が大切でしょうか？

定期的な診断やメンテナンスがしっかりと行われるかどうかでしょう。そのためには、できるだけ早い段階で家の特徴、メンテナンス計画、そしてその資金計画について、設計事務所や工務店が十分すぎる程にお客様に説明することがポイントになると思います。また、メンテナンスが難しい雨仕舞いや構造に関わる部分には、できるだけ高耐久で信頼できる部材を使うことが重要です。この辺の部材選びと施工が誠実にされていることが、本当に長持ちする長期優良住宅には欠かせません。

一 これからの住宅づくりは どうあるべきだとお考えですか？

全ての住宅に言えることですが、「縦割り」を止めることで、住宅の「質」は向上すると思います。この「縦割り」とは、設計士、現場監督、職人等のコミュニケーション不足のことです。私も職人時代には、現場の声が設計

側に伝わらなかつたり、逆に設計の意図が分からなかつたりした経験があり、こうしたコミュニケーション不足は改善しなければと感じていました。

長期優良住宅普及促進法は住宅市場を「量」から「質」へシフトさせるためのきっかけに過ぎません。「質」の向上を常に志し、「良質で愛され続ける住まい」を供給する、お客様に評価される工務店や設計事務所が、新築着工数が減っている時代に生き残っていくのではないのでしょうか。

NPO法人日本ホームインスペクターズ協会 Japanese Society of Home Inspectors

日本ホームインスペクターズ協会は、住宅購入者が安心して住宅を購入できるよう、住宅の劣化の状態を診断できる専門家を育成し、新築・中古住宅流通市場の透明化・活性化促進を目的として設立された団体で、ホームインスペクターの研修・試験や消費者への紹介、建物知識の普及活動を行なっています。「人と住まいのより幸せな関係を追求し、その思想を世の中に広めること」を目的に、永く大切に住み継ぐ良質な中古住宅市場の形成に貢献されています。

» 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jshi.org/>

このインタビュー記事は、**タイベック・ユーザー サポートクラブ** サイトでもご覧いただけます。

<https://www.tyvek.co.jp/construction/user/>

編集後記

タイベック・ユーザー サポートクラブのみなさま、こんにちは。旭・デュポンの市川です。記録的な猛暑が続く中、現場に出られている方々は本当にお疲れ

様です。今回のニュースレターでは、新しい試みとして外部の方のインタビュー記事を掲載いたしました。タイベック・シルバーと直接の関係は少ないですが、長期優良住宅制度に関する興味深い話題だと

思います。今後は業界のホットな話題についても情報提供をしてまいります。また、サポートクラブの運営内容にご意見やご希望がございましたら、ぜひお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

※この「CLUB NEWS LETTER」に関するご意見、ご要望があれば、ぜひこちらへお寄せください：takashi.ichikawa@jpn.dupont.com